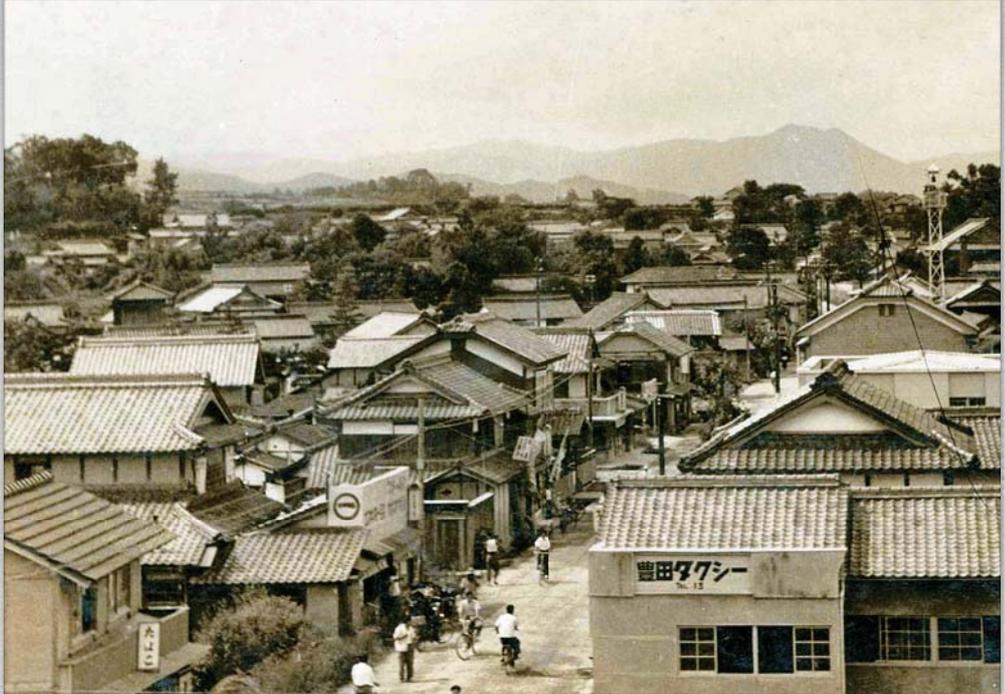




このコーナーは、文書館に保存している古い写真を皆さんに紹介します。



懐かしの1枚
山本東付近の風景
昭和32(1957)年頃・山本町

昭和32(1957)年11月3日に山本村から山本町となった。それにあわせて新庁舎(現在の文書館)が建設され、10月末に完成。新庁舎の屋上から観音寺方面を撮影したもので、現在まで続く商店も見える。

「思い出の1ページ」

当時、通りの一角で、食料品屋を営んでいた大平清子さん(85)はこの近辺の移り変わりを見守ってきました。

「うちの店の前には国鉄バスの始発乗り場がありました。車をまだ1人1台持っていない時代。ここから観音寺や豊浜、琴平に向かう便が出ていたので、大勢の人が乗り降りしていました。おかげでうちの店も大繁盛。よう売れました。棚に商品を並べてもすぐになくなってしまいうので補充するのですが、それですぐになくなってしまいうほど。運転手の人たちの宿舎がそばにあつて、始発便の運転手が詰めていました。宿舎にはお風呂がなかったの、うちに来てお風呂に入った、一緒に食卓を囲んでから、宿舎へ帰らなりましたよ。私も大事にしてもらいました。今は皆さんどうしているんでしょう。いい思い出です。

店をやっていたからこそ、広範囲に住む人と知り合いになれ、あちらこちらの情報を聞けたこと、そして、店の前に縁台を出して、ご近所の人と暑い夏にう

ちわをおおきながら笑い合った皆さんとのつながりは、私の宝物です」



編集 後記

4年に1度のスポーツ冬の祭典「ソチオリンピック」が開催され、熱戦が繰り広げられました。オリンピックという世界最高峰の舞台で、冬の精鋭たちが輝きを放ち、多くの喜びと感動を運んでくれましたね。

スポーツ少年団の取材をしていると「仲間」というワードが必ず出てきました。仲間と出会い、一緒に夢に向かって汗を流し、支えあい、スポーツを通して絆はいくつになっても強く、大切に感じるものです。スポーツは、「カラダ」だけでなく、「アタマ」や「心」も育み、子どもたちの可能性を広げてくれる力があります。

わたし自身、高校までスポーツをしてきましたが、今はさっぱり…体を動かさねばと取材をしながら思いました。

子どもたちのスポーツ少年団に限らず、市内ではさまざまなスポーツが行われています。皆さんも体を動かし、スポーツの魅力や楽しさを感じてみてはいかがでしょうか。